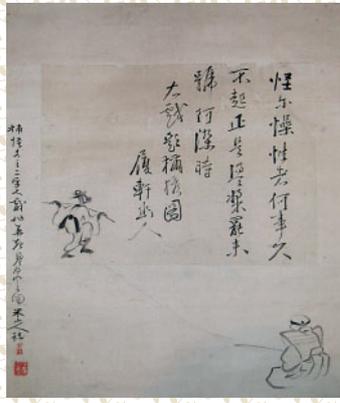


大坂の商人は質素儉約を旨とし、日々の暮らしは質素であったといわれます。また、店訓や家訓では趣味嗜好が制限されていました。にもかかわらず、近年注目を集める大阪画壇の作品群でその中心となるのは、大坂町人自らが筆をとって描いた文人画なのです。木村蒨葎堂は酒造業、岡田米山人は米穀商としての顔を持ちました。ときに大阪城の城詰大名と趣味を通じた歓談が身分を越えて成立した、彼らの文雅の嗜みとその世界を紹介します。

- 展示作品：佐古文書から店訓、家訓、古地図、地誌等文献資料
木村蒨葎堂、岡田米山人、鼎春岳、福原五岳、十時梅崖、春木南湖等（掛軸、卷子、色紙、短冊）



岡田米山人・中井履軒「猿廻り」紙本墨書（個人蔵）



岡田米山人「芥子人形図」絹本淡彩（個人蔵）

連続講座（全5回）

自立する市民と文化意識を論じます。

- ① 9月14日「大阪画壇の可能性」
講師：明尾 圭造（大阪商業大学商業史博物館主席学芸員）
- ② 9月21日「近代ヨーロッパ都市社会における感覚の共有と文化創造」
講師：塩田 真典（大阪商業大学大学院教授）
- ③ 9月28日「大阪の文芸について」
講師：石上 敏（大阪商業大学大学院教授）
- ④ 10月5日「懐徳堂と町人意識」
講師：山中 浩之（大阪府立大学名誉教授）
- ⑤ 10月12日「大阪と文人画」
講師：橋爪 節也（大阪大学総合学術博物館館長）

- 時間：午後2時～3時30分
- 会場：GATEWAY 4階 ネットワークレクチャールーム
- 定員：60名
- 受講費：全5回 3,000円
- 受講方法：申込制（締切 9月10日）
※事前にFAX、Mailもしくは電話にてお申込みください。
受講票は発行いたしません。



岡田米山人「雪山山水図」資本墨書（個人蔵）



岡田米山人「二清図」絹本墨書淡彩（個人蔵）



木村蒨葎堂「墨蘭図」紙本墨書（個人蔵）

公開シンポジウム

「商都大阪の文化力」

企画展や連続講座を踏まえて、大阪における文化創造の可能性を探ります。

- 日時：10月20日（土）午後1時～4時
- ◎ 基調講演：「商都大阪の文化力」伊木 稔（大阪商業大学商業史博物館館長・大阪商業大学大学院教授）
- ◎ 報告：「経済人とコレクション」武藤 治太（国民會館会長・ダイワボウホールディングス相談役）
「文化装置としてのミュージアム」蓑 豊（兵庫県立美術館館長・金沢21世紀美術館特任館長・大阪市立美術館名誉館長）
- 「アジアの中の大坂とその文化」中谷 伸生（関西大学教授）
- ◎ パネルディスカッション：●コーディネーター 明尾 圭造（大阪商業大学商業史博物館主席学芸員）

- 会場：大阪商業大学ユニバーシティホール蒼天
- 参加費：無料 ■ 定員：300名 ■ 参加方法：申込制（締切10月15日）
- 申込方法：申込はFAX・Email・電話にてお申込みください。

①氏名 ②住所 ③連絡先（電話番号またはEmailアドレス）を明記の上、大阪商業大学学術研究事務局まで
〒577-8505 東大阪市御厨栄町4-1-10 TEL：06(6785)6139 FAX：06(6785)6237

三宅石庵「書状幅」紙本墨書（本館蔵）



【交通のご案内】
※近鉄奈良線「河内小阪駅」下車（準急・区間準急・普通電車）北東へ徒歩5分
※駐車場はございません。公共の交通機関をご利用ください。



中井竹山「保楊紅杏描春乞」紙本墨書（個人蔵）